



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

令和4年(2022年)9月28日

国立二小だより

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

一致団結 みんなをつなぐ運動会

校長 小林 理人

2学期がスタートして1カ月が経ちました。朝夕は肌寒く感じるようになり、コオロギなどの虫たちの鳴き声に秋の訪れを感じます。子供たちはスローガンである「一致団結」を意識し、運動会に向けて仕上げの練習に取り組んでいます。子供たちの感染防止や学期初めの健康管理等、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力、そして温かい励ましに感謝申し上げます。

運動会や展覧会などの学校行事は1年間の教育活動の節目であり、その実施の時期や内容によって目的が異なります。1学期に行った校外学習や移動教室等の学校行事は学級や学年のまとまりを育むことを目的にしました。そして、2学期に行う学校行事は、まとまりを活かしてみんなで取り組む楽しさや、やり遂げた達成感を味わうことを目的とします。週末に予定されている運動会や11月の展覧会がその機会となります。1年間の学校生活の節目として保護者の皆様に子供たちの頑張りや成長した姿を見ていただくとともに、子供たちがみんなで学ぶ楽しさや、やり遂げたことへの達成感を味わえるようにしたいと思います。特に今年は校舎の建て替え前の最後の運動会になります。子供たちもそのことを意識し、練習や準備を進めています。また、コロナ感染等の影響で十分に練習ができなかったり、みんなと同じような参加ができなかったりした子供もいます。参加の仕方や取り組み方を柔軟に工夫し、どの子供も自分なりの方法で楽しく参加できるように工夫しました。

伝創一結 伝統だけでなく新しく創ることに挑戦しみんなで一つに団結する

6年生の二松ソーラン、1年生の時から過ごした思い出いっぱいの芝生の上で、一緒に過ごした友達と憧れのソーラン節を踊ります。真剣な眼差しと躍動感あふれる動きが今年の6年生の持ち味です。大切にしたい伝統や思い出と、未来への希望をソーラン節とダンスで表現します。

5年生はフラッグを使った表現に挑戦します。本番に向けて緊張感が高まってきました。体や旗の動きだけではなく旗を振る音もそろそろようになりました。仲間とともに一つの演技を作り上げる喜びや、心と体の「統一」の美しさに見応えを感じます。

4年生は運動会では恒例のエイサーです。6年生の二松ソーランをめざして自分たちの想いを見ている人に伝えます。今年は太鼓の響きを芝生校庭一杯に響かせて「ダイナミック琉球」に挑戦します。「がんばろう」「ありがとう」みんなの心が表情や動きに表れています。

3年生は「千本桜」の曲に乗って大好きな仲間や学校との「つながりの”わ”」を表現します。練習を積み重ね、動きに力強さが増してきました。また、難しい隊形移動も素早くなりました。「楽しく、そして、かっこよく」、3年生の絆の強さとたくましさを感じます。

2年生はなにわ男子の「サチアレ」に合わせて踊る「二小 サチアレ!」です。自分たちでダンスを考えたり、リズムカルな曲に合わせて動きを工夫したりしながら練習する姿に1年間の成長を感じます。2年生の元気いっぱいのダンスが見ている人に幸せを届けます。

1年生は「アロハ・エ・コモマイ～みんなオハナ～」を可愛い笑顔で楽しく踊ります。うれしい笑顔、ドキドキの笑顔、ちょっぴりはずかしそうな笑顔・・・ハワイアンリズムに合わせて、広い校庭いっぱいに1年生の笑顔が広がります。

二小の良さや伝統、友達との大切な思い出などを未来につなげること、二小を想う人たちの心をつなぐことを「一致団結」の言葉に託し、みんなをつなぐ運動会をめざします。